

令和8年（2026年）4月



横須賀市立田浦中学校

第3学年

家庭学習のしおり

年間指導計画



保護者の皆様へ

〇はじめに

田浦中学校では、学校教育目標を次の通り掲げ、日々の教育活動を行っています。

学校教育目標 “たくましく、心豊かに”

～自他共栄のため 考え、判断し、行動する～

粘り強く取り組むことができる生徒＝「たくましく」

他者を思いやり共感できる生徒＝「心豊かに」

社会の一員として考え、判断し、行動できる生徒＝「自他共栄」

学校での学びにおいて、各教科での様々な学習活動が行われていますが、こと学力に関しては学校だけでの勉強で一朝一夕に身につくものではありません。帰宅後の家庭学習等も含め、日々の積み重ねが時間をかけて少しずつお子さまの力を育てていくものと理解しています。

本冊子では、お子さまのご家庭での学習習慣づくりのために、保護者の方をはじめ、周囲の方々がどのように関わればよいかをまとめたものです。家庭で取り組める学習内容や学習時間の目安のほか、家庭で大切にしたいポイント等をまとめました。

家庭での学習習慣の形成のために役立てていただき、家庭でのお子さまへの学習支援の参考としてご活用いただければ幸いです。

3年生

《目指したい学習習慣》

～ 進路に向けて目標を明確にした学習習慣～

✎ 家庭学習時間のめやす：90分

○この時期の特徴

自らの進学や就職などの進路決定をする時期が少しずつ迫ってきています。「やらなきゃ」と分かっているにもかかわらず、思うようにならない苛立ちを覚え、大人の言うことに素直になれないこともあります。ただ、将来を見据えた目標を持てるので、本人のやる気につながります。

○家庭で大切にしていきたいこと

①基本的な生活習慣を見直しましょう

基本に立ち戻りましょう。寝起きをする時間、食事をする時間など、時間を意識することで計画性が培われます。

②計画的に時間を使いましょう

部活動引退後は、生活リズムを整えましょう。テレビやスマートフォンなどの利用については、使う時間を決めましょう。

③挨拶や会話を大切にしましょう

家族の支えが大切になる時期です。食事の時など、会話の時間をできるだけつくり、いろいろな話をしましょう。

○生徒へのワンポイントアドバイス

【国語】

今年度は「課題」がたくさんあります。「課題」の内容をしっかりと把握して、指定期日までに滞り無く提出できるよう、計画的に取り組みましょう。また、国語の力を磨くためには、日常生活の過ごし方もとても大切です。様々な言葉に触れ、言語能力を磨く機会を作りましょう。

【社会】

授業の復習をしましょう。復習の方法は3つです。「①教科書の音読、②問題集を解く、③授業内容を家族に話す・説明する」です。特に③は家族との対話を通して学習内容の記憶を再生し強化できます。

【数学】

授業で学んだことを振り返りましょう。①教科書・ノートを見返す、②問題集を解く、③わかる問題を増やすが理想です。わからないところもはっきりとさせることが大切です。次の日に自分の言葉でわかったこと、わからなかったことを伝えられると良いと思います。

【理科】

教科書とノートで要点を確認し、ワークで基礎問題を解きましょう。間違えた問題は解説で理解を深め、類題で定着させましょう。図や用語を自分でまとめ直すと効果的です。

【英語】

家庭学習は「復習」を中心に行いましょう。特に教科書の音読をおすすめします。3年生の教科書が難しいと感じる場合は1、2年生の教科書からはじめてみてください。音声を確認したいときは、デジタル教科書を活用しましょう。

家庭学習を習慣化させるためのポイント

1. 生活のリズムを整える

規則正しい生活リズムが日々の子どもの生活を整え、家庭学習の習慣化につながります。あたりまえのことですが、早寝・早起きをする、朝食をきちんと食べる、テレビやゲーム、スマホなどの時間をきちんと決めましょう。

2. 読書をする時間を増やす

読書は子どもの感性を磨き、知識や思考の源となります。まずは、毎日子どもが読書をする時間をつくりましょう。また、地域の図書館に行き、本と出会う機会をつくりましょう。

3. 努力を認め励ます

一つのことには継続して取り組む、やや難しいことに挑戦する、そしてあきらめずにやり抜くことを経験させましょう。子どもの学習に目を向け、必要な声かけや点検を行い、粘り強い努力を本気で褒めましょう。

4. 勉強しやすい環境をつくる

家族で過ごす時間を大事にし、子どもの話を定期的に聞きましょう。

ニュースなどで、興味のある内容だけでなく、様々な内容を話題に取り上げて、社会への関心を広げましょう。

保護者の方へ

～お子さまとこんなことができますか？チェック表～

- 子どもの夢や憧れについて知っている。
- 子どもの交友関係を知っている。
- 子どものクラス、担任・副担任の先生の名前を知っている。
- 子どもの登校・下校の時刻を知っている。
- 子どもの部活動の大会や学校の行事等を見に行ったことがある。
- 1週間に1回以上子どもを誉めている
- 子どもが今持っているお金の金額を知っている。
- 一日1回以上、子どもと一緒に食事をとっている。
- 子どもと、自分の生き方や仕事について語ったり話し合ったりしたことがある。
- 子どもの将来について話し合ったことがある。

2026年度・第3学年 国語科 年間指導計画及び評価計画

指導教諭：小川 彰朗

教科の到達目標	(1) 社会生活に必要な国語の知識や技能を身に着けるとともに、我が国の言語文化に親しんだり理解したりすることができるようにする。 (2) 筋道立てて考える力や豊かに感じたり想像したりする力を養い、日常生活における人とのかかわりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを確かなものにするようにする。 (3) 言葉が持つ価値に気づくとともに、進んで読書をし、我が国の言語文化を大切にして、思いや考えを伝え合おうとする態度を養う。
---------	--

学期	期間	単元計画 ※課業期間は学習順	各観点の評価計画		
			知識・技能	思考・判断・表現	主体的に 学習に取り組む態度
前期	課業期間	1.(詩歌)	◎授業プリントの記述 ・誤字脱字/文のねじれ/語彙など	【話す・聞く】合意形成 【書く】題材設定/論理展開/考えの形成 【読む】批判的な読み方	○「国語授業 記録カード」の記述 ○「単元の振り返りシート」の記述 ○「学習漢字ノート」の取り組み
		2.深まる学びへ(小説・漢文)	◎俳句に対する理解 ・俳句の形式/表現技法など	◎詩歌(口語定型詩)の創作 ◎俳句の創作	
		3.視野を広げて(論説)	◎批評文に対する理解 ・批評文の形式	◎批評文の執筆 ・客観的分析/論理展開/表現の工夫	
		4.言葉とともに(俳句)	○漢字小テスト(「学習漢字ノート」より)	○ワークシートの記述内容 ・展開,人物像,ものの見方,表現の評価の読み取り/考えを深められているか	
		5.自分の考えを(批評文)	○文法小テスト(既習分野を含む) ・文節,連文節の対応/意味のまとまり/呼応の副詞	○話し合い活動での発言内容 ・説得力のある話の構成/質問(聞き上手)/合意形成(課題解決)を目指した話し合い	
	夏休み	前期テスト	基礎的・応用的な内容の確認	基礎的・応用的な内容の確認	なし
	夏休み	既習事項の確認	なし	なし	【自由課題】※2025年度より抜粋 ○「読書感想文」/「マンガ感想文」 ○「税の標語」 ○「JA共済神奈川県小・中・高校生書道コンクール」
後期	課業期間	1.いにしへの心を受け継ぐ(古文)	◎授業プリントの記述 ・誤字脱字/文のねじれ/語彙など	【話す・聞く】合意形成 【書く】題材設定/論理展開/考えの形成	○「国語授業 記録カード」の記述 ○「単元の振り返りシート」の記述 ○「学習漢字ノート」の取り組み
		2.状況の中で(小説)	○漢字小テスト(「学習漢字ノート」より)	【読む】批判的な読み方	
		3.文法・言葉・漢字	○文法小テスト(既習分野を含む) ・文法のまとめ	○ワークシートの記述内容 ・展開,人物像,ものの見方,表現の評価の読み取り/考えを深められているか	
		4.いつも本はそばに	○言葉 ・相手や場に応じた言葉遣い/和語・漢語・外来語/慣用句・ことわざ・故事成語 ○漢字 ・熟語の読み方/漢字の造語力	○話し合い活動での発言内容 ・説得力のある話の構成/質問(聞き上手)/合意形成(課題解決)を目指した話し合い	
		後期テスト	基礎的・応用的な内容の確認	基礎的・応用的な内容の確認	
	冬休み	既習事項の確認	なし	なし	なし

横断的学習(主なもの):
 ・修学旅行のお礼の手紙/プレゼンテーション(総合的な学習の時間)
 ・古文/漢文(歴史)

授業前の取り組み(ベル学習):
 なし

家庭での学習への取り組み方について
 【語彙力/読解力育成のために】
 1. 学習中の単元の本文をすらすら読めることを目指して音読する。
 →一段落だけでもいいので、読めない漢字をなくしたり、読みづらい言葉をスムーズに読めるまで何回か声に出して読むことが効果的です。次第に文章の内容が頭に入ってきます。
 2. 自分の好きな本(小説や評論)を読む。
 3. 意味がわからない語句は辞書などで調べる習慣をつける。

2026年度・第3学年 社会科 年間指導計画及び評価計画

指導教諭：高橋 健人

教科の到達目標	<p>(1) 我が国の国土と歴史、現代の政治、経済、国際関係等に関して理解するとともに、調査や諸資料から様々な情報を効果的に調べまとめる技能を身に付けるようにする。</p> <p>(2) 社会的事象の意味や意義、特色や相互の関連を多面的・多角的に考察したり、社会に見られる課題の解決に向けて選択・判断したりする力、思考・判断したことを説明したり、それらを基に議論したりする力を養う。</p> <p>(3) よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に解決しようとする態度を養うとともに、我が国の国土や歴史に対する愛情、国民主権を担う公民として、自国を愛し、その平和と繁栄を図ることの大切さについての自覚などを深める。</p>
---------	--

学期	期間	単元計画 ※課業期間は学習順	各観点の評価計画		
			知識・技能	思考・判断・表現	主体的に 学習に取り組む態度
前期	課業期間	1.日本の近代化と国際社会	・提出物(レポートなど) ・ノートなどの記述 ・対話、話し合いへの参画	・提出物(レポートなど) ・ノートなどの記述 ・対話、話し合いへの参画	・提出物(レポートなど) ・ノートなどの記述 ・対話、話し合いへの参画
		2.二度の世界大戦と日本			
		3.現代の日本と世界			
		4.現代社会と私たち			
		5.日本国憲法と私たち			
	期	前期テスト	基礎的・応用的な内容の確認	基礎的・応用的な内容の確認	「知識・技能」、「思考・判断・表現」の観点の踏まえた評価
		夏休み	なし	なし	なし
後期	課業期間	1.政治と私たち	・提出物(レポートなど) ・ノートなどの記述 ・対話、話し合いへの参画	・提出物(レポートなど) ・ノートなどの記述 ・対話、話し合いへの参画	・提出物(レポートなど) ・ノートなどの記述 ・対話、話し合いへの参画
		2.経済活動と私たち			
		3.国際社会と私たち			
		4.課題探究と私たち			
		後期テスト			
	期	冬休み	なし	なし	なし

横断的学習(主なもの):

- ・政治、経済、現代社会に関する学習(技術家庭科、総合的な学習の時間)
- ・プレゼンテーション原稿の作成と発表(国語、総合的な学習の時間)

授業前の取り組み(ベル学習):

- ・前回の授業の内容を復習する(問題集やタブレット/パソコンを活用する)
- ・振り返りシート、ワーク等に取り組む、

家庭での学習への取り組み方について

1. 授業内容について保護者や家族に話し、対話を通して復習したり、発展的に考えたりする
2. 社会科に関連するニュースにふれる(TV、WEB、新聞など)
3. 教科書の音読、黙読
4. 問題集を解く
5. 教育系WEBページを活用した自主的な学習(ドリル形式のものや動画視聴など)

2026年度・第3学年 数学科 年間指導計画及び評価計画

指導教諭：後藤 恭輔・大津 翔

教科の到達目標	<p>(1) 正の数と負の数、文字を用いた式と一元一次方程式、平面図形と空間図形、比例と反比例、データの分布と確率などについての基礎的な概念や原理・法則などを理解するとともに、事象を数理的に捉えたり、数学的に解釈したり、数学的に表現・処理したりする技能を身に付けるようにする。</p> <p>(2) 数の範囲を拡張し、数の性質や計算について考察したり、文字を用いて数量の関係や法則などを考察したりする力、図形の構成要素や構成の仕方に着目し、図形の性質や関係を直観的に捉え論理的に考察する力、数量の変化や対応に着目して関数関係を見だし、その特徴を表、式、グラフなどで考察する力、データの分布に着目し、その傾向を読み取り批判的に考察して判断したり、不確定な事象の起こりやすさについて考察したりする力を養う。</p> <p>(3) 数学的活動の楽しさや数学のよさに気付いて粘り強く考え、数学を生活や学習に生かそうとする態度、問題解決の過程を振り返って検討しようとする態度、多面的に捉え考えようとする態度を養う。</p>
----------------	--

学期	期間	単元計画 ※授業期間は学習順	各観点の評価計画		
			知識・技能	思考・判断・表現	主体的に 学習に取り組む態度
前期	授業期間	1.式の計算	・小テスト ・単元テスト ・提出物 (問題集・テスト振り返り ・レポートなど)	・小テスト ・単元テスト ・提出物 (問題集・テスト振り返り・ レポートなど)	・提出物 (問題集・テスト振り返り ・レポートなど)
		2.平方根			
		3.2次方程式			
		前期テスト	基礎的・応用的な内容の 確認	基礎的・応用的な内容の 確認	なし
	夏休み	既習事項の確認	なし	なし	問題集
後期	授業期間	1.関数 $y=ax^2$	・小テスト ・単元テスト ・提出物 (問題集・テスト振り返り ・レポートなど)	・小テスト ・単元テスト ・提出物 (問題集・テスト振り返り・ レポートなど)	・提出物 (問題集・テスト振り返り ・レポートなど)
		2.相似な図形			
		3.円			
		4.三平方の定理			
		5.標本調査			
		後期テスト	基礎的・応用的な内容の 確認	基礎的・応用的な内容の 確認	なし
	冬休み	既習事項の確認	なし	なし	問題集

横断的学習(主なもの):

- ・話し合い活動で論理だてて相手に説明する(国語)
- ・物体の落下と関数(理科)

授業前の取り組み(ベル学習):

- ・前回の学習内容の確認
- ・問題集に取り組む

家庭での学習への取り組み方について

1. まず、教科書の例題が理解できているか確認しましょう
2. 用語や記号の意味や基本的な作業が身についているか確認しましょう
3. ここまでできていたら基本的な問題を多く解いてみましょう
4. うまいいかない場合は原因を見つけて対策しましょう
5. さらに難易度を高めてチャレンジしてみましょう
6. 身の回りのさまざまな「もの」と数学の学習内容の関連に目を向けてみましょう

2026年度・第3学年 理科科 年間指導計画及び評価計画

指導教諭：澤田 博司

教科の到達目標	自然の事物・現象に関わり、理科の見方・考え方を働かせ、見通しをもって観察、実験を行うことなどを通して、自然の事物・現象を科学的に探究するために必要な資質・能力を次の通り育成することを目指す。 (1)自然の事物・現象についての理解を深め、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本的な技能を身に着けるようにする。 (2)観察、実験などを行い、科学的に探究する力を養う。 (3)自然の事物・現象に進んで関わり、科学的に探究しようとする態度を養う。
---------	--

学期	期間	単元計画 ※課業期間は学習順	各観点の評価計画		
			知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
前期	課業期間	1.電気の世界	・実験器具の取り扱い方 ・班活動への取り組み ・単元のまとめの取り組み ・小テスト ・レポート	・実験器具の取り扱い方 ・班活動への取り組み ・単元のまとめの取り組み ・小テスト ・レポート	・班活動への取り組み ・提出物の内容 ・レポート
		2.化学変化とイオン			
		3.生命の連続性			
	前期テスト	基礎的・応用的な内容の確認	基礎的・応用的な内容の確認	「知識・技能」、「思考・判断・表現」の観点の状況を踏まえた評価	
夏休み	既習事項の確認	・ワーク	なし	・ワーク	
後期	課業期間	1.生命の連続性	・実験器具の取り扱い方 ・班活動への取り組み ・単元のまとめの取り組み ・小テスト ・レポート	・実験器具の取り扱い方 ・班活動への取り組み ・単元のまとめの取り組み ・小テスト ・レポート	・班活動への取り組み方 ・提出物の内容 ・レポート
		2.運動とエネルギー			
		3.地球と宇宙			
		4.地球と私たちの未来のために			
	後期テスト	基礎的・応用的な内容の確認	基礎的・応用的な内容の確認	「知識・技能」、「思考・判断・表現」の観点の状況を踏まえた評価	
冬休み	なし	なし	なし	なし	

横断的学習(主なもの)：

数学：比例・反比例と一次方程式 国語：論理的文章(命題と論理) 社会：エネルギーと環境・新しい技術
 保健体育：体のしくみと健康 技術家庭科：エネルギーと仕事・電流・力

授業前の取り組み(ベル学習)：

- ①教科書とノートを用意します。前回のページを開きましょう。
- ②教科書を読みます。前回までの流れを確認し、疑問や調べてみたい課題が何だったのか、思い出しましょう。
- ③ノートに前回の疑問や課題がメモされているか、確認します。

家庭での学習への取り組み方について

1. 理科の家庭学習については復習中心で行いましょう。ワークや単元末問題は、1度解いて終わらせず、繰り返し取り組むと効果が出ます。
- ①ノート等に要点を書きだしたり、興味や関心があったりしたことを記入しまとめていきます。
 - ②必要なことは覚え、完全に理解できるようにしましょう。
 - ③問題集に取り組みます。解答は問題集へ直接記入せず、なるべく専用のノートを準備してそれに書き込みましょう。
 - ④○付けを間違えたり分からなかったところがあれば、授業資料または教科書等を見て再確認をしましょう。
 - ⑤実験がある前日は、教科書やワークシートを見て、実験内容や操作・観察のポイントを確認しておきましょう。

2026年度・第3学年 英語科 年間指導計画及び評価計画

指導教諭：西郷 麻子

教科の到達目標
 (1) 外国語の音声や語彙、表現、文法、言語の働きなどを理解するとともに、これらの知識を、聞くこと、読むこと、話すこと、書くことによる実際のコミュニケーションにおいて活用できる技能を身に付けるようにする。
 (2) コミュニケーションを行う目的や場面、状況などに応じて、日常的な話題や社会的な話題について、外国語で簡単な情報や考えなどを理解したり、これらを活用して表現したり伝え合ったりすることができる力を養う。
 (3) 外国語の背景にある文化に対する理解を深め、聞き手、読み手、話し手、書き手に配慮しながら、主体的に外国語を用いてコミュニケーションを図ろうとする態度を養う。

学期	期間	単元計画 ※課業期間は学習順	各観点の評価計画						
			知識・技能	思考・判断・表現	主体的に 学習に取り組む態度				
前期	課業期間	1.2年生の内容、復習	・CAテストの取り組み ・単元テスト(リスニング含) ・単語テスト [知識] 音声・語彙・表現・文法・言語の働きを理解する [技能] 実際のコミュニケーションの場面での活用する	・CAテストの取り組み ・コミュニケーション活動における会話や記述 学んだことを生かして、目的や場面・状況に応じて、 ①必要な情報を捉える ②事実や自分の考え、気持ちを表現し、伝え合う	・CAテストの取り組み ・単元の振り返り ・コミュニケーション活動への取り組み方 相手のことを考えて「読む」「聞く」「話す」「書く」活動に取り組もうとしている				
		2.現在完了形・現在完了進行形							
		3.SVOC / SVOC構文							
		4.It for to 構文							
		5.want 人 to 構文							
		6.let(help)目的語+動詞							
	期	前期テスト	基礎的・応用的な内容の確認	基礎的・応用的な内容の確認	定期テストの振り返り 「知識・技能」、「思考・判断・表現」の観点の状況を踏まえた評価				
夏休み	なし	なし	なし	なし					
後期	課業期間	1.間接疑問文	・CAテストの取り組み ・単元テスト(リスニング含) ・単語テスト [知識] 音声・語彙・表現・文法・言語の働きを理解する [技能] 実際のコミュニケーションの場面での活用する	・CAテストの取り組み ・コミュニケーション活動における会話や記述 学んだことを生かして、目的や場面・状況に応じて、 ①必要な情報を捉える ②事実や自分の考え、気持ちを表現し、伝え合う	・CAテストの取り組み ・単元の振り返り ・コミュニケーション活動への取り組み方 相手のことを考えて「読む」「聞く」「話す」「書く」活動に取り組もうとしている				
		2.後置修飾							
		3.関係代名詞							
		4.仮定法							
		期				後期テスト	基礎的・応用的な内容の確認	基礎的・応用的な内容の確認	定期テストの振り返り 「知識・技能」、「思考・判断・表現」の観点の状況を踏まえた評価
		冬休み				なし	なし	なし	なし

横断的学習(主なもの):

- 1.Japanese Culture(社会) 2.Ethical fasion(総合的な学習の時間) 3.Animal protection(理科) 4.Helping each other・Disaster prevention(防災) 5.Human rights Peace(社会) 6.International cooperation(総合的な学習の時間)

授業前の取り組み(ベル学習):

- ・ 学習した部分のワークの問題に取り組む
- ・ 学習した部分の音読に取り組む

家庭での学習への取り組み方について

1. 学習した内容の音読(すでに学習していて、内容が分かるものを選んで音読しましょう。1年生・2年生の教科書も活用してください。教科書のQRコードを使用すると音声を確認しながら学習できます。)
2. 授業内容の復習(教科書・ワーク・授業で配布されたプリントを使って復習してください。その日の授業内容を誰かに説明するつもりで学習すると定着します。)

☆家庭学習は復習に力を入れて取り組みましょう。

2026年度・第3学年 音楽科 年間指導計画及び評価計画

指導教諭：五十嵐 冬馬

教科の到達目標	表現及び鑑賞の幅広い活動を通して、音楽的な見方・考え方を働かせ、生活や社会の中の音や音楽、音楽文化と豊かに関わる資質・能力を次の通り育成することを目指す。 (1)曲想と音楽の構造や背景などとの関わり及び音楽の多様性について理解するとともに、創意工夫を生かした音楽表現をするために必要な技能を身に付けるようにする。 (2)曲にふさわしい表現を創意工夫することや、音楽のよさや美しさを味わって聴くことができるようにする。 (3)主体的・協働的に学習に取り組み、音楽活動の楽しさを体験することを通して、音楽文化に親しむとともに、感性を磨き、音楽に親しんでいく態度を養う。
---------	---

学期	期間	単元計画 ※課業期間は学習順	各観点の評価計画					
			知識・技能	思考・判断・表現	主体的に 学習に取り組む態度			
前期	課業期間	1.アンサンブルの技術を身につけよう	【知識】 ・ワークシート ・(単元テスト) 【技能】 ・歌唱テスト →音程・音量など ・器楽テスト →指使い・アンサンブルなど	・単元ごとのワークシート ・課題の解決の取り組み方 ・班・グループでの取り組み方 ・(単元テスト)	・単元ごとのワークシート ・課題の解決の取り組み方 ・班・グループでの取り組み方 ・授業への取り組み方 (楽器を正しく扱えているか・合唱への取り組み姿勢など)			
		2.オペラの世界を知ろう						
		3.学年の合唱を作り上げよう						
		4.クラスの合唱を作り上げよう						
		前期テスト				実施しません	実施しません	実施しません
	夏休み	既習事項の確認	自由課題あり	自由課題あり	自由課題あり			
後期	課業期間	1.箏の奏法を身につけよう	【知識】 ・ワークシート ・(単元テスト) 【技能】 ・歌唱テスト →音程・音量など ・器楽テスト →指使い・アンサンブルなど	・単元ごとのワークシート ・課題の解決の取り組み方 ・班・グループでの取り組み方 ・(単元テスト)	・単元ごとのワークシート ・課題の解決の取り組み方 ・班・グループでの取り組み方 ・授業への取り組み方 (楽器を正しく扱えているか・合唱への取り組み姿勢など)			
		2.アンサンブルで表現の幅を広げよう						
		3.最後の合唱を作り上げよう						
		後期テスト				実施しません	実施しません	実施しません
		冬休み				なし	なし	なし

横断的学習(主なもの):

- ・ 絵画と音楽の関係性について(美術)
- ・ ダンスにおけるリズムの取り方(体育)
- ・ 数字と音楽(数学)

授業前の取り組み(ベル学習):

- ・ 楽器の準備
- ・ 前回の復習

家庭での学習への取り組み方について

1. 音楽を聴く時間を確保する
2. 授業での学習成果を家族に披露する
3. 音楽の話を家族としてみる(家族に中学生のころ流行った曲を聞いてみる)

2026年度・第3学年 美術科 年間指導計画及び評価計画

指導教諭：高橋 沙希

教科の到達目標	<ul style="list-style-type: none"> ・美しいものにあこがれを持ち、前向きに制作に取り組む。 ・作品や文化財を大切に作る心を育てる。 ・道具や用具を大切に扱いケガなく安全に制作する心を育てる。 ・時間を守り最後までやり遂げる心を育てる。 ・自分や友達の作品の良さを認め合い、他者と協力して作品を作りあげる心を育てる。
---------	---

学期	期間	単元計画 ※授業期間は学習順	各観点の評価計画		
			知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
前期	授業期間	1.遠近法を知ろう	・描画材による丁寧な制作 ・着色の技能	・遠近法を理解した発想・構想 ・自分をテーマとした画面構成より(アイデア)	・ワークシートの完成度 ・作品の取り組み ・作品の完成度 ・振り返りシート
		2.シュールな表現			
		3.見つけようワタシらしさ			
	前期テスト	実施しません	実施しません	実施しません	
夏休み	既習事項の確認	なし	なし	なし	
後期	授業期間	1.思い出を飾る木彫づくり	・木材による立体のとらえ方と丁寧さ ・彫刻の技能	・構成美の要素を理解した・発想・構想 ・使いやすさを追求したアイデア	・作品の完成度 ・作品の取り組み方 ・振り返りシート ・ワークシートの完成度
		2.使いやすい形の追求			
	後期テスト	実施しません	実施しません	実施しません	
冬休み	既習事項の確認	なし	なし	なし	

横断的学習(主なもの):

- ・修学旅行のお礼の手紙(総合的な学習の時間)
- ・プレゼンテーション(総合的な学習の時間)

授業前の取り組み(ベル学習):

- ・学習カードの記入
- ・アイデアスケッチを進める

家庭での学習への取り組み方について

1. 日常生活における美しい形・色彩・光などの効果を感じられる心を持たせる。

2026年度・第3学年 技術科 年間指導計画及び評価計画

指導教諭：島田 直也

教科の到達目標	(1) 生活や社会で利用されている情報の技術についての基礎的な理解とそれらに係る技能を理解する。 (2) 情報の技術と生活や社会や社会、環境とのかかわりについて理解する。 (3) 生活や社会の中から情報の技術にかかわる問題を見いだして課題を設定し解決できる。
---------	---

学期	期間	単元計画 ※課業期間は学習順	各観点の評価計画		
			知識・技能	思考・判断・表現	主体的に 学習に取り組む態度
前期	課業期間	1.情報の技術	単元テスト 製作品 作業方法・手順	製作品 単元テスト ワークシート 学習カード 作業方法・手順	単元テスト 学習カード 作業方法・手順
		2.情報の技術(実習)			
		定期テスト(中間・期末)	実施しません	実施しません	実施しません
	夏休み	既習事項の確認	なし	なし	なし
後期	課業期間	1.情報の技術	単元テスト ワークシート 製作品 作業方法・手順	製作品 ワークシート 学習カード レポート 作業方法・手順	単元テスト 学習カード レポート 作業方法・手順
		2.情報の技術(実習)			
		3.社会の発展と情報の技術			
		定期テスト(中間・期末)	実施しません	実施しません	実施しません
	冬休み	既習事項の確認	なし	なし	なし

横断的学習(主なもの):

なし

授業前の取り組み(ベル学習):

・単元別漢字学習

家庭での学習への取り組み方について

1. 学校で学んだことを保護者など人に話す(アウトプット)
2. 学校で学んだことと家庭生活とのつながりを確認する。
3. 個人端末や家のPCなどを用いてクラスルームで共有された内容を復習する。(動画・資料等)
4. 問題解決に取り組むために普段から家庭での生活に目を向ける。

2026年度・第3学年 家庭科 年間指導計画及び評価計画

指導教諭：外崎 愛莉

教科の到達目標	<ul style="list-style-type: none"> ・購入方法や支払い方法の特徴、売買契約の仕組み、消費者被害の背景を理解できる。 ・物資・サービスの選択に必要な情報を活用して購入を工夫する。 ・幼児の発達と生活の特徴が分かり、子どもが育つ環境、遊びの意義や関わり方について理解していること。 ・幼児とのより良いかかわり方について工夫する。 ・家族、家庭基本的な機能、家族や地域の人々と協力・協働について理解できる。 ・家庭生活を支える一員として生活をよりよくしようとする態度を養う。
---------	---

学期	期間	単元計画 ※課業期間は学習順	各観点の評価計画		
			知識・技能	思考・判断・表現	主体的に 学習に取り組む態度
前期	課業期間	1. 私たちの成長と家族・地域	<ul style="list-style-type: none"> ・ワークシート ・単元テスト ・製作計画 ・幼児との関わりレポート 	<ul style="list-style-type: none"> ・ワークシート ・単元テスト ・実習計画 ・実習レポート ・製作計画 ・幼児との関わりレポート 	<ul style="list-style-type: none"> ・ワークシート ・単元テスト ・授業の振り返り ・実習計画 ・実習レポート
		2. 調理実習			
	定期テスト(中間・期末)	実施しません	実施しません	実施しません	
夏休み	既習事項の確認	なし	なし	なし	
後期	課業期間	1. 私たちの成長と家族・地域	<ul style="list-style-type: none"> ・ワークシート ・道具等の使い方 ・単元テスト ・家族との関わりレポート ・商品購入レポート 	<ul style="list-style-type: none"> ・ワークシート ・実習計画 ・実習レポート ・家族との関わりレポート ・商品購入レポート 	<ul style="list-style-type: none"> ・ワークシート ・単元テスト ・授業の振り返り ・実習計画 ・実習レポート
		2. 私たちの消費生活と環境			
		3. 持続可能な消費生活を目指して			
	定期テスト(中間・期末)	実施しません	実施しません	実施しません	
冬休み	既習事項の確認	なし	なし	なし	

横断的学習(主なもの):

なし

授業前の取り組み(ベル学習):

・授業道具を準備しておく。

家庭での学習への取り組み方について

1. 経済や消費生活に関するニュースを積極的に見る。
2. 授業で学んだことを日常生活で実践する。

2026年度・第3学年 保健体育科 年間指導計画及び評価計画

指導教諭：秋本 翔平・児玉 万里絵

教科の到達目標	<ul style="list-style-type: none"> ・運動の合理的な実践を通して、運動の楽しさや喜びを味わい、運動を豊かに実践することができるようにするため、運動、体力の必要性について理解するとともに、基本的な技能を身に付けるようにする。 ・運動についての自己の課題を発見し、合理的な解決に向けて思考し判断するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝える力を養う。 ・運動における競争や共同の経験を通して、公正に取り組む、互いに協力する、自己の役割を果たす、一人一人の違いを認めようとするなどの意欲を育てるとともに、健康・安全に留意し、自己の最善を尽くして運動する態度を養う。
---------	---

学期	期間	単元計画 ※課業期間は学習順	各観点の評価計画		
			知識・技能	思考・判断・表現	主体的に 学習に取り組む態度
前期	課業期間	1.体力づくり	【知識】 ・学習カードの記載内容 ・単元テスト ・保健ワークシート 【技能】 ・体ほぐし・体の動きを高める運動の行い方 ・回転系や巧技系の動き ・ハードル走の行い方 ・クロール・平泳ぎの動き ・ダンスの身体表現	・学習カードの記載内容 ・保健ワークシート ・課題解決のための 取り組み方 ・班やグループでの 話し合い方 ・単元テスト	・学習カードの記載内容 ・保健ワークシート ・課題解決のための 取り組み方 ・班やグループでの 話し合い方 ・健康・安全の確保の仕方
		2.陸上競技or器械運動			
		3.水泳orダンス			
		4.保健			
		5.体育理論			
	前期テスト	実施しません	実施しません	実施しません	
夏休み	なし	なし	なし	なし	
後期	課業期間	1.バドミントンorソフトテニス	【知識】 ・学習カードの記載内容 ・単元テスト ・保健ワークシート 【技能】 ・安定したボール操作、空間をつくりだす動き、ゴール前への侵入 ・役割に応じたボール操作、安定した用具の操作、連携した動き、空いた場所をめぐる攻防	・学習カードの記載内容 ・保健ワークシート ・課題解決のための 取り組み方 ・班やグループでの 話し合い方 ・単元テスト	・学習カードの記載内容 ・保健ワークシート ・課題解決のための 取り組み方 ・班やグループでの 話し合い方 ・健康・安全の確保の仕方
		2.バスケットボールorハンドボール			
		3.サッカーor卓球			
		4.保健			
		5.体育理論			
	後期テスト	実施しません	実施しません	実施しません	
冬休み	なし	なし	なし	なし	

横断的学習(主なもの):

理科:恒温動物と変温動物

授業前の取り組み(ベル学習):

- ・整列
- ・用具の準備
- ・準備運動

家庭での学習への取り組み方について

1. 自ら運動する時間を確保する。
2. 運動に親しむ場を家族で共有する。